

NPO 推進北海道会議 2025 年度事業報告

NPO 推進北海道会議としての活動は、理論と実践を往還する共同研究会活動と、田口理事を座長とする読書会の 2 つが中心でした。

1 NPO 推進政策提案（アドボカシー）活動

- 1-1) NPO サポートセンター、日本 NPO センター、シーズ「市民活動を支える制度をつくる会」、I I H O E [人と組織と地球のための国際研究所]等と連携し情報収集、情報発信につとめました。また、「社会的責任向上のための NPO/NGO ネットワーク」(NN ネット)に参加しました。
- 1-2) 政府の NPO 政策、北海道や札幌市など道内各自治体の NPO 政策について情報を収集しました。

2 研修・交流・学習活動

- 2-1) 2020 年 1 月より、田口理事を座長に、NPO 関係者を中心にした読書会を開催しました。

これまで読書会で読んできた本は 12 冊です。昨年度は 10-12 まで 3 冊を読みました。

シーズン 12 「テクノ封建制」(バルファキス, ヤニス【著】〈Varoufakis, Yanis〉/関 美和【訳】/斎藤 幸平【解説】、集英社)2025 年 12 月

シーズン 11 「裏金国家—日本を覆う「2015 年体制」の呪縛」(金子勝、朝日新書)2025 年 5 月

シーズン 10 「超国家主義の論理と心理」(丸山真男著、岩波文庫)2025 年 4 月

シーズン 9 「象徴天皇の実像」(原 武史著、岩波新書) 2025 年 2 月

シーズン 8 「世界史の実験」柄谷行人 2024 年 9 月

シーズン 7 「資本主義のその先へ」(大澤真幸、筑摩書房) 2024 年 5 月

シーズン 6 「日本の保守とリベラル 思考の座標軸を立て直す」(宇野重規著、中公選書)

シーズン 5 「この世界の問い方」(大澤真幸著、朝日新書)

シーズン 4 『人新世の「資本論」』(斎藤幸平著、集英社 2020)

シーズン 3 「民主主義とは何か」(宇野重規著、講談社現代新書)

シーズン 2 「ドーナツ経済」(ケイト・ラワース(著), 黒輪篤嗣(翻訳), 河出文庫)

シーズン 1 「日本近代史」(坂野潤治著、ちくま新書 2012 年刊)

3 調査研究活動(共同研究会活動)

3-1)

2023 年、理論と実践を往還する「共同研究会」を発足し、北海道 NP0 フェスティバルにおいて初回セミナーを開催しました。25 年は理論編、実践編セミナーを開催しました。いずれも動画公開中です。

●市民社会の到達点と課題： 25 年間の日本の NP0 の変化と現状 岡本仁宏さんをお迎えして-NP0 推進北海道会議特別セミナー

2026 年 3 月 10 日 18:00-20:00 オンライン開催参加無料

基調講演に岡本仁宏（おかもとまさひろ）さんをお迎えして意見交換しました。

関西学院大学名誉教授。（社福）大阪ボランティア協会ボランティアリズム研究所所長、（公財）公益法人協会顧問、（一社）公益信託推進イニシャチブ代表理事、元日本 NP0 学会会長。

https://youtu.be/5xZzS_C0nP4?si=oNCN08qB1iIIR-BL

●多世代居場所の 10 年間の歩み — 「ねっこぼっこのいえ」の実践

日時：2026 年 3 月 12 日（木）18:00～19:30 オンライン開催

NP0 法人ねっこぼっこのいえ 代表理事の太田千代 さん

<https://youtu.be/67fWVfXHWlw?si=npzUQZyxQ9JeiH3w>

■研究会はメンバーシップを設けていませんが、発足以来の顔ぶれとしては以下になります。

角一典(NP0 推進北海道会議代表理事、北海道教育大学教育学部旭川校教授)

田口晃(北海学園大学名誉教授)

佐藤隆(北海道 NP0 サポートセンター顧問)

廣田まゆみ(北海道議会議員)

高山大祐(事務局・北海道 NP0 ファンド理事)

3-2) 非営利活動についての調査、研究活動については、関係者の要望に応じて実施します。

→ 今年度は未実施でした。

4 組織拡充と地域ネットワークづくり

4－1) 理事会の開催 2回開催しました。

4－2) 会員数は、団体 55 団体、個人 35 人を目標にしています。

→ 2025 年度末現在 団体 38、個人 35

4－3) 北海道内外各地の NPO と連携しながら活動しました。

4－4) 北海道 NPO サポートセンター、北海道 NPO ファンド、北海道 NPO バンクとともに東日本大震災・原発大事故被災者の支援を行いました。